

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790400360		
法人名	社会福祉法人 明生会		
事業所名	グループホーム 悠		
所在地	福島県いわき市平赤井字一の町62-1		
自己評価作成日	平成25年9月20日	評価結果市町村受理日	平成26年2月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kaigokensaku.jp/07/index.php>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会
所在地	〒960-8253 福島県福島市泉字堀ノ内15番地の3
訪問調査日	平成25年11月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな住み慣れた地域で「その人らしさ」を大切に
持っている力を発揮しながら、安心と尊厳のある暮らしが出来るよう
取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1 法人では市内に複数の介護施設を運営しており、毎年合同で行事(花見・芋煮会・秋祭り等を)を開催している。イベントとして高校生のフラダンス等ボランティアの参加もあり、地域との交流の場となっている。

2 事業所では利用者と職員と一緒に様々な作品を制作している。今年は全員で作成した大作である貼り絵を市主催のシルバーフェアに出品予定である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社会福祉法人明生会の理念とグループホーム悠の基本理念を玄関に掲示し、日常において職員全員がその主旨を理解し実践につなげている。	法人の理念のほかに事業所独自の理念を作成している。理念には「慣れ親しんだ生活の継続」をうたっており、その実現のための行動計画も策定している。理念は玄関等に掲示さらにミーティング等で唱和し、全職員が共有して理念の実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時の地域の方との交流や近くの美容室の利用、地域の中学生の体験学習の場の提供、お祭り時の子供神輿の訪問などがある。	地域の夏祭りの子供神輿等を受け入れており、利用者の楽しみとなっている。また、中・高生の職場体験やボランティア(虹色コーラス隊・地域歴史話・生け花教室等)を積極的に受け入れ地域と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方の相談の受け入れや中学生の体験学習の際に認知症への理解を深めていただけるよう努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている	定期的に開催しており、ご利用者やご家族、民生委員、地域包括支援センター、駐在様などへの報告や意見交換を行いその後の運営に生かすよう努めている。	運営推進会議は定期的に行われているが、参加者は利用者と家族が多数を占めている。会議の内容は事業所の報告が主であり、各委員からの提案や意見が記載されていない。	委員構成と会議運営の見直しが必要と思われる。委員は各分野から広く選任され、推進会議の意義や役割を十分理解して積極的に参加してもらえるよう働きかけてほしい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	機会あるごとに相談したり、事業所の情報を提供したりしている。消防訓練においては、消防署に相談し意見をきいている。	事業所の現状や利用者の状況等について、市担当者とは常に情報の交換しており、連携が図られている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関や中庭など自由に出入りできるようにしてある。利用者の行動や行為を阻止しない取り組みをしている。	マニュアルをもとに全職員が研修を重ね、「身体拘束をしないケア」を実践している。夜間以外は玄関の施錠はせず見守りで対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング等で事例についての勉強会をしたり虐待について全職員が理解し実行している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括支援センターの職員より制度についての説明を受けた。職員ミーティングで勉強していく予定である。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所契約時に十分説明し、理解、納得頂いた上で契約を結んでいる。ご家族の不安や疑問には、必要時にそのつど説明し、同意をもらっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置や面会時、運営推進会議時に声かけを行い意見の汲み取りに努めている。	年1回事業所独自の家族アンケートを実施しており、結果を全職員で検討しケアの向上や事業所運営に反映させている。また、面会等あらゆる機会を通して家族の意向把握に努めている。「haruka便り」を隔月発行し事業所の状況等を報告している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングや勤務中においても職員の意見や提案が聞けるよう努めている。	月例のミーティングで職員の意見の収集をしている。管理者は日常業務の中でも職員の意見や提言を把握しており、出された提言等は全職員で話し合いサービスに反映させている。内容によっては法人にも報告している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人全体の管理者会議で十分に話し合いをもうけ、各自の状況や実績に合わせた環境把握に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修へ多数の職員が参加できる提供を行い参加後は、研修について全職員に報告し共有する。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会など研修に参加し交流を深めながらサービスの向上を図っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用になる前に面談を行い、本人、家族の要望を確認し安心して貰えるよう信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人と家族の現状を理解・共感しながら、不安内容や要望などを丁寧に確認して、関係作りをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用時になにを必要としているか、本人、家族の要望を見極めて必要とする支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人を中心とした、本人が安心でき共に生きる仲間として支え合う関係を築くように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の関係が継続されるよう支援し、本人状況や変化の度に家族と情報を共有し、支え続けていく関係作りをしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブや買い物など慣れ親しんだ地域へ出かけたり、古くからの知人が遠慮なく面会に来れるよう配慮し支援している。	利用者の友人や近所の方の訪問があり、これまでの関係が継続できるよう支援している。また、馴染みの理美容院の利用の支援をしており家族同行を基本としているが、場合によっては職員が対応することもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	相性の合うもの同士が寛げるような席の配置のしたり、外出支援時を機会に仲間作りが出来るよう配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	機会があれば退所後も連絡を取り、本人や家族の良好な経過が続くよう支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で本人の希望や意向の把握に努めている。本人の確認が困難な場合は、面会時などに家族と検討している。	利用者の意向把握には日常の行動や些細な発言から汲みとっている。特に入浴時や散歩、さらに事業所の食材の買出しには利用者が交替でかけており、それらの機会には利用者から多くの発言があるので見逃さないよう気を配っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に確認している他、日常の面会時や電話での報告連絡時などの機会を利用し、少しずつ情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの心身の状況を把握し、それぞれにあったケアに努めている。又、本人の有する能力の発見に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティング時に職員全員から全利用者のモニタリング表を提出して貰いそれぞれの気づきと対応を全員で話し合い反映している。	利用者の現状把握を十分行い、利用者、家族の意見を踏まえ介護計画を作成している。日々の個別記録をもとに検討会議を開催し利用者の現状に即した計画の見直しを行っている。また、日常のケアから利用者へのサービス変更が必要と認められる時は、その都度計画の変更をしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各利用者ごとの個別記録を用意し、生活記録や食事量、排泄のリズムなどを記入し、情報の共有をしながら新たな気づきに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に合わせ、それぞれその時々ニーズに柔軟に対応できるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のお店を利用したり小中学生とのかかわりを持ち、又地域の警察や民生委員とも情報を交換し、連携に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制を結んでおり、定期的な往診に加え、いつでも適切な医療が受けられるようにしている。ご利用者によって各科かかりつけ医が違うが点継続支援も行なっている。	事業所には協力医療機関から月2回の往診があり、利用時にこれまでのかかりつけ医を変更した利用者もあり、現在は利用者全員が協力医療機関をかかりつけ医としている。専門医の受診には家族対応を原則としている。受診結果は家族と情報の共有をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームに看護師がいないため協力医院の看護師に相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は定期的に面会に行き、家族、主治医、看護師と話し合いながら、退院後の受け入れを整える。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで	心身の状況の変化は家族へ報告し、重度化した場合にはホームでできることをあらかじめ伝えと共に本人、家族の希望にも沿ったケアになるように話し合うことにしている。	事業所では看護師の退職に伴い、これまでの「看取りに関する指針」を廃止し、「病状急変時の対応について」を作成して対応している。現在、新たな指針の作成を準備中である。	新たな指針を早急に策定され、事業所で出来ることできないことを明確にし、利用者、家族に十分説明し、理解を得ることが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺蘇生法やAEDの使用法を学び、AEDを設置している。ミーティング時に急変時の対応について話し合いを行なっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に自主避難訓練を行なっている。年一回の消防署員の立会いの講習を受けている。	消防署立会いの防災訓練を実施し指導を受けている。さらに毎月事業所独自の防災訓練（近隣火災・初期対応訓練・通報訓練・緊急連絡網訓練等）を実施し、災害時に全職員が利用者を的確に避難誘導できるよう訓練を重ねている。非常時の食料品等は1週間分を備蓄している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの生活歴や性格を考慮しその方に合った言葉掛けを行いプライバシーを大切にしたい支援に努めている。	トイレや入浴の誘導には利用者の気持ちを大切にさりげない声かけを工夫して実践している。個人情報は施錠可能な書庫で保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望などを表せるような言葉掛けや環境を作り自由に表現できるような接し方に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりに寄り添って本人ペースを優先し見守りやお話を傾聴している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で服を選んでいただいたり好みのアクセサリーなどを身につけたりとおしゃれが出来るよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている	栄養士によるバランスの取れた献立で、買い物や準備、片付けを一緒に行なっている。	献立は法人の栄養士が作成している。法人の合同行事等では外食や配食の弁当の機会も多く、食事がたのしいものとなるよう工夫されている。職員も同じ食卓を囲み楽しい食事風景である。毎週パン屋さんの訪問を受け入れており、おやつ等にパン食も楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士により計算されている。固さや大きさも一人ずつ工夫し食べやすいように支援している。こまめな水分摂取に気をつけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態に応じたケアの支援を行なっている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表をつけ、一人ひとりの排泄パターンを把握し声を掛け支援をしている。	「排泄チェック表」から利用者個々の排泄パターンを把握し、排泄の自立を目標に支援している。適切な誘導によりリハビリパンツから布パンツに改善された利用者もいる。全職員がリハビリパンツやパット等の使用軽減に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表で排泄の確認を行い、適度な運動、水分摂取に気を配り便秘予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の入浴の希望を伺いながら、順番やタイミングを調整しながら支援している。	入浴は利用者の体調を考慮しながら最低週3回以上を目標に支援をしている。入浴拒否者には担当者や話題、時刻を変えて誘導している。入浴できない利用者には清拭・足浴等に対応している。ゆず湯などの季節風呂も実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならないよう配慮しつつ、居室で休む時間や一人で過ごす時間を大切にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をいつでも確認できるよう、ファイルしており、必要があった場合職員が職員全員が確認している。服薬においては、職員が名前を確認し手渡して服薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれ好きな役割があり、負担にならないよう支援している。又、生け花や歌などを楽しめるようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天気や体調を考慮して、散歩やドライブ、買い物などに気の合う利用者同士行なえる支援をしている。	好天時には事業所周辺の散歩を楽しんでいる。法人主催の花見・芋煮会・秋祭りの参加や事業所行事の紅葉狩り・初詣・ピクニック、ドライブ等日常的に外出支援をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談した上で、お金を持っていたほうが安心される方のみ、小額所持している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族から電話があった場合は、本人につないでおり、希望があれば連絡できるようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内には温度計湿度計が設置しており、常にきを配っている。ホーム内の飾りつけも季節を感じられようにしている。中庭には花を植え居心地よく過ごせるようにしている。	共有空間は広く大型テレビとソファのあるスペースと和室コーナーがあり、食堂は吐き出し窓からベランダを経て中庭に出られるようになっている。空調も適切に配慮され気持ちのよい空間となっており、利用者は思い思いの場所で自由に過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各居室店ホールのソファ、それぞれのテーブルウッドデッキなど自由に気のあった利用者同士で過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている(小規模多機能の場合)宿泊用の部屋について、自宅とのギャップを感じさせない工夫等の取組をしている	本人や家族と相談しながら、慣れ親しんだ家具の持ち込みや写真小物などを持ってきていただきその人らしい居心地の良い空間になるよう支援している。	居室は和室2・洋室7があり、空調・電動介護ベット・クローゼット等が備え付けとなっている。全室掃出し窓であり非常時の避難には有効である。利用者は自宅で使用していた家具、テレビ・椅子・机等好みのものを持ち込み、住み慣れた自宅の環境を確保している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人安全に、持っている能力を生かし生活できるような環境作りに努めている。		